

大人のための情報モラル通信

発信者特定に関する最近の動向について

大人のための情報モラル通信は、子どもたちの安心・安全なインターネット利用に向けて、学校の先生方と保護者のみなさま、地域のみなさまに「大人としてできること」を考えていただく為の資料です。

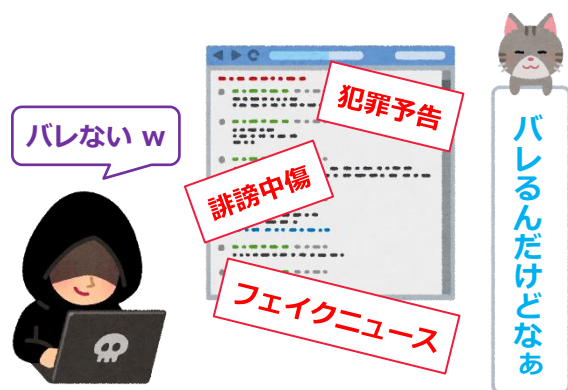
2022年の10月に「改正プロバイダ責任制限法」が施行され、**匿名の発信者の個人特定**(発信者情報開示請求)が、以前よりやりやすくなりました。

それから1年以上が経過しましたが、何か変わったのでしょうか。誰かを誹謗中傷したり、迷惑なフェイクニュースを投稿するような人は減ったのでしょうか。



当社では、子どもたちのインターネット上の不適切な投稿を調査する「**ネットパトロール**」を行っていますが、その結果からは大きな変化は見られません。

調査結果では、最近ではSNSより匿名掲示板や口コミサイトへの不適切な投稿が増えています。今なお、本当に「**匿名**」だと思っている人がたくさんいます。

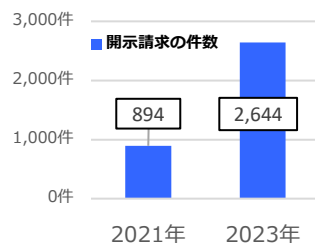


★不適切な投稿に対する**責任追及**を行う人が増えている★

2023年10月の新聞報道によると、2年前と比べて開示請求の件数が**約3倍に増加**しています。相手を突き止めて警察に通報したり、損害賠償請求を行う人が増えています。

また、開示請求を行って書き込んだ人を調べていくと、不適切な書き込みを行っているのが**未成年の子供**であった、ということも少なくないようです。

画像や動画の投稿だけでなく、軽い気持ちで書き込みやすいYoutubeのコメント投稿、地図サービスのクチコミの投稿も、「**自分の感想だから**」という思ったことをそのまま書くと、予期せぬ**責任を追及**される恐れがあります。



※ 2023年10月16日読売新聞報道より(東京地裁の件数)
2023年は前年10月から8月までの新制度の件数

情報発信の際に最も重要なのは、「人の嫌がることをしない」「ルールを守る」といった道徳的な価値観です。ただ、それだけではなく、「**発信に伴う責任**」や「**匿名性がない仕組み**」についても、できるだけ早い段階から子供たちに伝えていきましょう。